

(秘 外 部)

海軍公報

第七百八十三號

海軍大臣官房

大正七年八月十六日(金)

○令 達

官房機密第一二五三號
大正六年官房機密第一九一號中「千早」ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ本月十五日ヨリ之ヲ適用ス

大正七年八月十六日

海軍大臣 加藤友三郎

參照 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍觀時給與規則第六條ノ附
條支給ノ件ナリ

○辭 令

(各通)

海軍機關大佐 清水 得一
海軍造船大技士 笹井 賢二
海軍造船機中監 竹内 正三
海軍造兵大技士 日高 鐵一
海軍度量衡調査會委員ヲ命ス(附海軍省)

○艦 船 所 在

▲印 ▲ハ ▲ホ ▲フ
指定ヲ要セス

○八月十六日午前十時開

海軍公報第七百八十三號

大正七年八月十六日

〔橫須賀〕

朝日▲檜名▲津輕、橋立、天龍、海風、山風、榎、稻、白鷺、夕暮、夕立、三日月、龍、曙▲夕霧▲雲▲陽炎▲江風▲不知火▲薄雲▲浦風▲巨潜一三▲潜一▲潜二▲巨鷗、雄鷗、白鷗、洲崎、劍崎、關東▲勝力、高崎、栗橋丸、長浦丸▲

〔大 湊〕

吹雪、有明、黑神丸、吳、金剛、比叡、吾妻、鹿島▲安藝▲伊吹、平戸▲富士、嚴島、巨夕風、疾風、彌生、巨時雨、初雪、初春、春風、巨潜一〇、潜一二、巨潜四、潜三、潜五、潜六、潜七、潜一四、巨水七〇、水六七、水六八、水七一、志自岐、椅子山丸▲觀海丸、雁山丸、板橋丸、

〔德 山〕

巨山城、巨伊勢、日向扶桑、攝津、河内、周防、巨濱風、磯風、天津風、巨桐、櫻、橘、巨韓崎、駒橋、巨潜一六、潜八、潜九、潜一五、潜一七、潜一

〔佐 伯〕

巨香取、三笠、生駒、巨利根、巨椿、嶺、櫻、桑、巨千歲

〔佐 世 保〕

鞍馬▲敷島、磐手、龍田、須磨▲、沖島、大和、樺、巨雁、鶴、巨鷗、雲雀、鶴、猿橋丸

〔長 崎〕

蒼鷹、薩摩▲、春日▲、筑摩▲、見島▲、巨朝風、潮、舞

若葉、子日、谷風、
水七三、水七四、水七五、淀橋丸

馬公 秋津洲、
打狗 瀧州、
旅順 淀波、綾波、膠州、白銀丸

南洋群島 淀、松江、華丙、花陰丸

間宮海峽 阿蘇

浦鹽斯德 肥前、石見

大治 千代田

漢口 宇治、隅田

長沙 嵯峨

常德 伏見

重慶 鳥羽

新嘉坡 八雲、明石

彼南 最上、長月

日進 對馬、新高

矢矧

出雲、楠、
桂、杉、榎

西土

梅

航海中

卯月(二日彼南發一尋堆)

野分、白雲(三日浦鹽發)

松風、霞(六日浦鹽發)

三池丸(六日橫須賀發)

霧島(八日「エスカイモルト」發橫須賀)

水無月(十二日彼南發一尋堆)

菊月(十二日新嘉坡發哨區)

常磐(十二日「ホノルル」發吳)

松(十二日坡西土發馬耳塞)

勞山(十四日橫須賀發吳)

檜、桃、柳(十四日「モルタ」發「アレキサンドリア」)

淺間(十五日橫須賀發「ホノルル」)

追風(十五日吳發德山)

青島(十五日浦鹽發吳)

若宮(十六日吳發)

(秘 外 部)

海軍公報

第七千七百八十四號

大正七年八月十七日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一二六〇號
大正六年官房機密第一九一號中「葦崎丸」ノ次ニ左ノ一
項ヲ加ヘ本月十六日ヨリ之ヲ適用ス

黑神丸
大正七年八月十七日

海軍大臣 加藤友三郎

(參照) 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍戰時給與規則第六條ノ
附條支給ノ件ナリ

官房第二八八五號
大正四年十二月官房第三八二五號中「第二驅逐隊」ヲ加

本令ハ大正七年八月十六日ヨリ之ヲ適用ス
大正七年八月十七日

海軍大臣 加藤友三郎

(參照) 大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍事費ヲ以テ經費
ヲ支給スヘキ各部ノ件ナリ

海軍公報第七千七百八十四號 大正七年八月十七日

○艦船所在

△印△ハホレ
指定ヲ要セス

○八月十七日午前十時調

【横須賀】 朝日△、榛名、津輕、橋立、天龍、巨白鷲、
夕暮、夕立、三日月、巨龍△、曙△、夕霧△、叢雲△、
陽炎△、江風△、不知火△、薄雲△、浦風△、巨潜一三△、
潜一△、潜二△、巨鷗、雄、鴻、白鷹、洲崎、劍崎、關東△、
勝力、高崎、栗橋丸、長浦丸△

【大 湊】 巨吹雪、有明

【吳】 巨金剛、比叡、巨吾妻、鹿島△、安藝△、伊吹、
平戸△、富士、嚴島、巨夕風、疾風、彌生、巨時雨、
初雪、初春、春風、巨韓崎、駒橋、巨潜一六、潜八、潜九、
潜一五、潜一七、巨潜一〇、潜一一、潜一二、巨潜四、
潜三、潜五、潜六、潜七、潜一四、巨水七〇、水六七、
水六八、水七一、勢山、椅子山丸△、硯海丸、歷山丸、
板橋丸

【德 山】 巨山城、巨伊勢、日向、扶桑、攝津、河内、
周防、巨利根、巨椿、楨、櫻、桑

【別 府】 巨香取、三笠

【佐 伯】 巨千歲、巨濱風、磯風、天津風

【佐 世 保】 駿馬△、敷島、磐手、龍田、須磨△、沖島、

五八九

樺、雁、鶴、燕、鷺、鶉、雲雀、鵲、猿橋丸

【長崎】 蒼鷹、薩摩、春日、筑摩、見島、朝風、潮、若葉、子日、谷風、真鶴、千鳥、隼、水七三、水七四、水七五、淀橋丸

【鐵海】 朝霧、村雨、秋津洲、朝潮、白雲

【馬公】 潮州

【打狗】 浦波、磯波、綾波、膠州、白銀丸、淀、松江、華丙、花咲丸

【南洋群島】 武藏、千早、如月、初霜、神風、響、葦埼丸

【加士里斯灣】 阿蘇、三池丸

【浦鹽斯德】 肥前、石見、千代田、宇治、隅田

【長沙】 蟻峨

【常德】 伏見

【重慶】 鳥羽

【新嘉坡】 明石、八雲、最上、長月、對馬、新高、日進

【彼南】 矢矧、出雲、楠、柏、杉、檜、桂、楓

【航海中】

卯月(二日彼南發一尋堆へ)

松野分、白雲(三日浦鹽發)

霧島(八日)エスカイモルト「發横須賀へ」

水無月(十二日彼南發一尋堆へ)

常磐(十二日)ホルル「發吳へ」

松(十二日)坡西土發馬耳塞へ)

檜、桃、柳(十四日)モルタ「發アレキサンドリア」

淺間(十五日)横須賀發「ホルル」へ)

青島(十五日)浦鹽發吳へ)

生駒(十六日)佐伯發横須賀へ)

黑神丸(十六日)大湊發加士里斯灣へ)

志自岐(十六日)吳發土崎へ)

大和(十六日)佐世保發測量地へ)

海風、山風、榎、檜(十六日)横須賀發大湊へ)

若宮(十七日)佐伯發別府へ)

追風(十七日)宮島發吳へ)

○ 雜款

○運送船志自岐第十回行動豫定

地名 著 發

吳 八月十六日

土 八月十九日

新 八月二十二日

吳 八月二十四日

佐世保 八月二十七日

八月二十九日

八月三十日

○旗艦變更
第一特務艦隊司令官ハ八月十六日旗艦ヲ八雲ヨリ明石ニ變更セリ

○郵便物發送先
運送船志自岐宛

八月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
其ノ後ハ 佐世保

海軍公報第千七百八十四號 大正七年八月十七日

五九一

(秘 外 部)

海軍公報

第七百八十五號

大正七年八月十九日(月)

海軍大臣官房

○通牒

艦政會第四九七號

大正七年八月十九日

海軍省艦政局
海軍省經理局

各關係船御中
各關係廳

石炭購買契約ノ件

大正七年度中彼南ニ於テ帝國艦船ニ石炭供給ニ關シ左記ノ通り契約候條御了知相成度
右通牒ス

契 約 書

海軍省經理局長志佐勝(以下甲ト稱ス)ハ大正七年八月廿日ヨリ大正八年三月三十一日迄彼南ニ於テ帝國海軍艦船ニ石炭供給ニ關シ三井物産株式會社代表取締役社長三井源右衛門(以下乙ト稱ス)ト契約スルコト左ノ如シ

第一條 乙ノ供給スヘキ石炭ノ品種數量及代價ハ左ノ通

(一) 第二種和炭(田川四尺塊炭) 約四千噸

單	價	舷	側	渡	甲	板	渡
棧	積						
橋	積						
沖	積						
		六三〇〇〇					
		六三五〇〇					
					六三〇〇〇		
					六四五〇〇		

海軍公報第七百八十五號 大正七年八月十九日

五九三

(一) 本契約締結ノ日ヨリ一ヶ月間ヲ限リ六ノ浦三尺塊炭若ハ杵島塊炭ヲ以テ代納シ又本契約期間ヲ通シ

岩屋精撰塊炭ヲ以テ代納スルコトヲ得但シ此ノ場合ニハ各一噸ニ付金一圓ヲ減スルモノトス

(二) 麻袋詰一噸ニ付金五圓貳拾五錢増

第二條 前條數量以上ニ供給ヲ要スル時ハ其ノ數量代價ハ別ニ協定スルモノトス

第三條 乙ハ豫メ石炭供給ニ必要ナル設備ヲ爲シ置キ艦船ヨリ要求アリタルトキハ隨時其ノ指定スル期日ニ

於テ該艦船ニ所要數量ヲ供給スルモノトス

第四條 乙ノ供給スヘキ石炭ハ艦長ノ命スル検査官ノ検査ヲ經テ合格シタルモノニ限ル不都合ノ場合ニ於テ

ハ更ニ正當代品ヲ指定期日迄ニ供給スヘシ又受領後ト雖品質著シク粗悪ニシテ繼續ニ於テ使用ニ適セスト

認メタルトキハ代品ヲ納入セシメ若ハ相當代價ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第五條 一般休暇日及日没後ニ於テ本品ノ授受ヲ爲シタル場合ハ甲ノ相當ト認ムル炭價ノ割増ヲナスコトアルヘシ

第六條 乙ハ艦船ノ指定期日ニ遅レ石炭ヲ持込ミ受領セラレタルトキハ遅延日數一日ニ付其ノ指定數量代價

ノ千分ノ一ニ相當スル違約金ヲ納付スルモノトス

第七條 甲ハ都合ニ依リ本契約期間内ト雖隨時無償ニテ解約スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ乙ハ何等ノ異

議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 乙ハ甲ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ本契約ヨリ生スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ス

第九條 本品代價ハ供給ノ都度代金請求書受領後十五日以内ニ海軍省經理局ニ於テ仕拂フモノトス

但シ請求書ニハ當該艦船ノ證明アル勘定書ヲ添付スヘシ

第十條 前各條ノ外ハ明治二十九年三月海軍省告示第三號物品購買賣却規則ニ據ルモノトス

右契約ヲ證スル爲本書二通ヲ作り各自署名捺印シテ各其ノ一通ヲ保有ス

大正七年八月一日

海軍省經理局長 志 佐 勝

東京市日本橋區駿河町壹番地

三井物産株式會社代表取締役

社長 三井源右衛門

第二種和炭規格

(甲號)

石炭每一「キロ」ニ付
 蒸發水量 橋氏百度ニ於テ
 クリンカー量 灰及クリンカー量 粉 炭
 百分比 百分比 百分比 百分比
 八、〇「キロ」以上 四、五以下 一三、〇以下 三十五度乃至四十五度ニ
 斜立セルメタル針金製八二、〇、〇以下
 分目角縮ヲ脱スルモノ

備考

一、本規格ハ試焚ニ適用スヘキモノトス
 二、試焚炭量ハ五百「キロ」以上トシ自然通風ニテ試験ヲ行フ

(乙號)

固 定 炭 素 灰 水 分 總 硫 黃 量
 百分比 百分比 百分比 百分比 百分比
 五、〇以上 八、〇以下 三、五以下 二、〇以下

備考 本規格ハ分析ニ適用スヘキモノニシテ規格甲號ニ依リ難キ場合ニ限り本規格ニ依ルヘシ

○ 辭 令

海軍中佐 吉 武 貞 輔
 海戰要務令改正委員ヲ命ス(以テ海軍省)

○ 艦 船 所 在

▲印 ▲ハキル
 精定ヲ要セズ

○八月十九日午前十時開
 横須賀 朝日▲、榛名、生駒、津輕、橋立、天龍、
 巨白鷲、夕暮、夕立、三日月、巨龍▲、曙▲、夕霧▲、霧雲▲

陽炎▲、江風▲、不知火▲、薄雲▲、浦風▲、巨潜一三▲
 潜一▲、潜二▲、巨鷗、雉、鴻、白鷹、洲埼、劍埼、關東▲
 勝力、高崎、栗橋丸、長浦丸▲
 大 浪 ▲ 巨吹雪、有明
 吳 ▲ 日向、ト吾妻、安藝▲、伊吹、平戸▲、富士
 巖島、巨夕風、追風、疾風、彌生、巨時雨、初雪、初春、
 春風、時津風、巨韓崎、駒橋、巨潜一六、潜八、潜九、
 潜一五、潜一七、巨潜一〇、潜一一、潜一二、巨潜四、
 潜三、潜五、潜六、潜七、潜一四、巨水七〇、水六七、
 水六八、水七二、椅子山丸▲、硯海丸、歷山丸、板橋丸

海軍公報第七百八十五號 大正七年八月十九日

五九五

德 山 河内、周防
 佐 伯 山口城、伊勢、扶桑、攝津、千歲、
 濱風、磯風、天津風、利根、椿、梅、桑
 佐世保 鞍馬、敷島、磐手、龍田、須磨、沖島、
 樺、雁、鶴、鷺、雲雀、鶴、猿橋丸
 長 崎 蒼鷹
 舞 鶴 薩摩、春日、筑摩、見島、若葉、
 朝風、潮、子日、谷風、真鶴、千鳥、隼、水七二、
 水七三、水七四、水七五、淀橋丸
 海 公 秋津洲、朝潮、白雲
 馬 順 浦波、磯波、綾波、白銀丸
 青 島 膠州
 南洋群島 淀、松江、華丙、花咬丸
 武藏
 間宮海峽 千早、如月、初霜、神風、響、葦崎丸
 浦鹽斯德 肥前、石見
 漢 口 千代田、宇治、鴨田
 長 沙 嵯峨
 常 德 伏見
 重 慶 鳥羽
 新嘉坡 明石、水無月
 南 最上、長月
 新高

航海中
 卯月(二日)彼南發一尋堆()
 野分、白等(三日)浦鹽發()
 松風、蔽(六日)浦鹽發()
 霧島(八日)エスカイモルト「發横須賀()
 菊月(十二日)新嘉坡發哨區()
 常磐(十二日)ホノルル「發吳()
 淺間(十五日)横須賀發「ホノルル()
 青島(十五日)浦鹽發吳()
 黑神丸(十六日)大湊發加那利里斯灣()
 桐、櫻、橘(十六日)徳山發佐伯()
 志自岐(十六日)吳發土崎()
 大和(十六日)佐世保發測量地()
 海風、山風、榎、楢(十六日)横須賀發大湊()
 楠(十六日)「モルタ」發「コルフ」()
 松(十六日)「マルサ」ト「ブラック」發坡西土()
 八雲(十六日)新嘉坡發古倫母()
 對馬(十七日)「スイモンスタウン」發「ダーバン」()
 滿州(十七日)打狗發測量地()

口香取、三笠(十八日別府發舞鶴へ)
 鹿島(十八日吳發舞鶴へ)
 若宮(十九日別府發安下庄へ)
 口金剛、比叡(十九日吳發安下庄へ)
 勞山(十九日吳發佐世保へ)

○雜款

○特設運送船三河丸第一回行動豫定

地名	著	發
横須賀		八月二十一日
神戶		八月二十三日
吳		八月二十四日
徳山		八月二十九日
青島	九月	九月三日
徳山		九月六日
西戶崎		九月十六日
横須賀		九月二十一日
		九月二十六日
		九月二十九日

○司令驅逐艦變更
 第三十一驅逐隊司令ハ八月十六日司令驅逐艦ヲ朝風
 リ若葉ニ變更セリ

○郵便物發送先
 第三艦隊司令部、香取、三笠宛
 本日以後

舞鶴

運送船高崎宛
 八月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ
 其ノ後ハ
 横須賀
 大湊

海軍公報第七百八十五號

大正七年八月十九日

五九七

(秘 外 部)

海軍公報

第七百八十六號

大正七年八月二十日(火)

海軍大臣官房

○ 令 達

官房機密第一二七一號

大正六年官房機密第一九一號中「第五驅逐隊」ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘ本月十九日ヨリ之ヲ適用ス

第二驅逐隊

大正七年八月二十日

海軍大臣 加藤友三郎

參照 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍臨時給與規則第六條ノ増修支給ノ件ナリ

○ 通 牒

海人第五七號

大正七年八月二十日

海軍省人事局長 谷口 尙眞

各廳長殿

上長官士官身體検査ニ關スル件

配員上必要有之十月一日現在所屬ニ就キ上長官士官ノ身體検査ヲ施行シ別紙様式ニ依リ十月末日迄ニ到達スル様検査成績御送附相成度

海軍公報第七百八十六號 大正七年八月二十日

但シ海外勤務ノモノ及海軍々醫アラサツ地ニ勤務スルモノハ此ノ備ニ及ハス候
右依命申進ス
(様式)(用紙、美濃紙型模造紙)

身體検査成績表

職官氏名	視力		聴力	體重	全身病	呼吸器病	神経系病	循環器病	榮養器病	泌尿器病	運動器病
	右	左									

五九九

1329

其ノ他ノ主 要ナル傷病	既往一箇年間ニ 引入療養セル傷 病名並其ノ療養 日數、症狀、胎後 症ノ概要	一般所見 一、勤務ニ堪フル程度 二、急速治療ノ要否 三、其ノ他必要ト認ムル事項	電報符 年月日 検査軍醫官職官氏名	備考 検査ノ際罹患セル疾病アルモノニ付テハ當該病 類下ニ其ノ病名、症狀ノ概要並發後ヲ記載スヘ シ 全身病ニ在リテハ結核、癩麻質斯等、神経系病ニ 在リテハ神經衰弱、神經痛等、呼吸器病ニ在リテ ハ其ノ慢性疾患、榮養器病ニ在リテハ其ノ慢性 疾患殊ニ痔瘻脱肛等ニ就キテ詳ニ記載スヘシ	○艦船所在 △印△ハホノ 指定ヲ要セズ ○八月二十日午前十時開 【横須賀】朝日△樺名、生駒、津輕、橋立、天龍、 白鷗、夕暮、夕立、三日月、日龍△陽△夕霧△叢雲△
----------------	---	--	-------------------------	--	---

陽炎△江風△不知火△薄雲△浦風△日潜一三△
 潜一△潜二△日隠△雉△鴻△白鷹△洲崎△劍崎△關東△
 勝力△高崎△栗橋丸△長浦丸△
 大濠△吹雪△有明
 吳△日向△吾妻△安藝△伊吹△平戸△富士△
 殿島△夕風△追風△疾風△彌生△時雨△初雪△初春△
 春風△時津風△神崎△駒橋△潜一六△潜八△潜九△
 潜一五△潜一七△潜一〇△潜一一△潜一二△潜四△
 潜三△潜五△潜六△潜七△潜一四△水七〇△水六七△
 水六八△水七一△青島△椅子山丸△鹿海丸△雁山丸△
 板橋丸
 安下庄△金剛△比叡△若宮△千歳△濱風△磯風△
 天津風
 德山△河内△周防
 佐伯△山口城△伊勢△扶桑△攝津△利根
 佐世保△鞍馬△敷島△磐手△龍田△須磨△沖島△
 樺△日雁△鶴△燕△蒼鷹△日鷲△鶯△鶺鴒△猿橋丸
 長崎△雲雀
 舞鶴△日香取△三笠△薩摩△春日△筑摩△見島△
 日若葉△朝風△潮△子日△谷風△日其鶴△島△千鳥△筆
 日水七二△水七三△水七四△水七五△淀橋丸
 川△志自岐
 船△日朝霧△村雨
 釜山△大和
 馬△秋津洲△日朝潮△白雲

南洋群島
 浦波、磯波、綾波、白銀丸
 淀、松江、華丙、花咲丸
 武藏
 阿蘇、三池丸
 肥前、石見
 千代田、宇治、隅田
 漢
 長沙
 常徳
 重慶
 新嘉坡
 彼南
 新嘉坡
 最上、長月
 新高
 日進
 矢矧
 出雲、松柏、杉、樅
 桂、楓、梅、檜、桃、柳、柳

黑神丸(十六日大湊發加斯土里斯灣へ)
 補(十六日「モルタ」發「コルフ」へ)
 松(十六日「マルサ、トブ」發「西土」へ)
 八雲(十六日新嘉坡發古倫母へ)
 對馬(十七日「サイモン」發「グロバン」へ)
 潮州(十七日打狗發測量地へ)
 水無月(十七日新嘉坡發哨區へ)
 鹿島(十八日吳發舞鶴へ)
 勢山(十九日吳發佐世保へ)
 膠州(十九日青島發佐世保へ)
 樺、楓、櫻、桑(十九日佐伯發吳へ)
 桐、櫻、橘(十九日徳山發伊豫灘へ)
 海風、山風、櫻、檜(十九日大湊發)

○雜款
 ○郵便物發送先
 第二艦隊司令部、金剛、比叡宛
 本日以後
 宮島
 第四水雷戰隊司令部、韓崎、駒橋、第三、第四潜水艇隊宛
 八月二十一日迄ニ到達見込ノモノハ
 吳
 宮島
 其ノ後ハ
 軍艦鹿島宛
 本日以後
 新嘉坡

海軍公報第七百八十六號 大正七年八月二十日

六〇一

海軍公報第七百八十六號 大正七年八月二十日

六〇三

軍艦津輕宛

九月二日迄ニ到達見込ノモノハ

九月四日 同

其ノ後ハ

小樽局氣付

大湊局氣付

横須賀

(秘 外 部)

海軍公報

第千七百八十七號

海軍大臣官房

大正七年八月二十一日(水)

○ 令 達

官房第二九一七號

大正七年度海軍小演習ハ之ヲ施行セシメラレヌ

大正七年八月二十一日

海軍大臣 加藤友三郎

○ 通 牒

官房第二八五七號ノ二

大正七年八月二十一日

海軍次官 枡内曾次郎

關係各廳長殿

戰時食料支給ニ關スル件

本年官房第二八五七號ヲ以テ海軍戰時給與規則施行細則第二十六條ニ依ル食料支給ノ件發令相成候處同令適用ノ各廳ニ於テハ適宜ノ帳簿ヲ備ヘ食料支給者ノ詰切日數及居殘服務者ノ服務時間ヲ記録シ置ク義ト承知相成度
右申進ス

官房第二九一八號

大正七年八月二十一日

海軍次官 枡内曾次郎

各廳長殿

從軍年加算ニ關スル件

左ニ掲ケル艦船ニ在リテ服務スル軍人ハ各頭書ノ日ヨリ起算シ大正三年十一月十日陸海軍省告示第一項ニ依リ從軍年ヲ加算セラルルモノトシ取扱相成度
右通知ス

大正七年八月十日

肥前 石見 阿蘇 千早

第五驅逐隊ノ各艦
第二十五驅逐隊ノ各艦

葦崎丸
黒神丸

大正七年八月十六日

官房第二九一九號

大正七年八月二十一日

海軍省副官 小林 隣造

海軍公報第千七百八十七號

大正七年八月二十一日

六〇三

1333

關係廳長殿

從來海軍軍人家族其ノ他部外者ニ對シ清遊ノ機會ヲ與
フカ爲特ニ海軍用船艇ニ便乗ヲ差許サルル向モ有之候
處存ハ自然弊害ヲ生スルノ虞有之延イテ物議ヲ醸スコ
トニモ立至ルヘク候ニ付テハ自今斯ル用途ニ海軍船艇
使用ノ儀ハ特別ノ事由アル場合ノ外之ヲ禁止セラレ度
御趣意ニ有之候條御了知相成度
右依命申進ス

○辭令

海軍造機大技士 松田 竹太郎
海軍度量衡調査會委員ヲ命ス(陸海軍省)

○八月二十日海軍大臣ヨリ海軍大尉大和田芳之介へ訓
令
第十四潜水艇ノ艦裝ニ從事スヘシ

○艦船所在

▲印▲ハホノ
指定ヲ要セス

○八月二十一日午前十時調
横須賀 朝日▲、榛名、生駒、津輕、橋立、天龍、
白霧、夕暮、夕立、三日月、巨龍▲、曙▲、夕霧▲、霞▲、
陽炎▲、江風▲、不知火、薄雲、浦風▲、巨潜一三▲、
潜一▲、潜二▲、巨鷲、雄、鴻、白鷹、洲崎、劍崎、關東▲、
勝力、高崎、栗橋丸、長浦丸▲

大 浪 巨吹雪、有明
吳 日向、▽晋妻、安藝▲伊吹、平戸▲富士、
嚴島、巨椿、楢、櫻、桑、▽千歲、巨濱風、磯風、天津風、
巨桐、櫻、橘、巨夕風、追風、疾風、巨時雨、初雪、
初春、春風、時津風、▽津崎、駒橋、巨潜一六、潜八、
潜九、潜一五、潜一七、巨潜一〇、潜一一、潜一二、
巨潜四、潜三、潜五、潜六、潜七、潜一四、巨水七〇、
水六七、水六八、水七一、椅子山丸▲、硯海丸、歷山丸、
板橋丸
宮 若宮
安 下 庄 巨金剛、比叡
德 山 河内、周防、彌生
佐 伯 巨山城、▽伊勢、扶桑、攝津、▽利根
佐 世 保 鞍馬、敷島、磐手、龍田、須磨▲、沖島、
樺、巨雁、鶴、燕、蒼鷹、巨鷲、鴻、鵜、猿橋丸
長 崎 雲雀
舞 鶴 巨香取、鹿島、三笠、薩摩▲春日▲筑摩▲、
見島▲、巨若葉、朝風、潮、子日、谷風、巨真鶴、陽、
千鳥、隼、巨水七二、水七三、水七四、水七五、淀橋丸
土 志自岐
鎮 大和、巨朝霧、村雨
馬 秋津洲、巨朝潮、白雲
旅 巨浦波、磯波、綾波、白銀丸
南洋洋島 淀松江、薄丙、花咲丸
武藏

<p>航海中</p> <p>野分、白雪(三日浦鹽發)</p> <p>松風、霞(六日浦鹽發)</p> <p>霧島(八日「エスカイモルト」發橫須賀)</p> <p>菊月(十二日新嘉坡發哨區)</p> <p>常勢(十二日「ホノルル」發吳)</p> <p>淺間(十五日橫須賀發「ホノルル」)</p> <p>楠(十六日「モルタ」發「コルフ」)</p> <p>八雲(十六日新嘉坡發古倫母)</p>	<p>間宮海峽</p> <p>浦鹽斯德</p> <p>漢口</p> <p>長沙</p> <p>常德</p> <p>重慶</p> <p>新嘉坡</p> <p>彼南</p> <p>新高</p> <p>日進</p> <p>矢矧</p> <p>出雲、松柏、杉、榎</p> <p>檜、桃、柳</p>	<p>千早、如月、初霜、神風、櫻、濠崎丸</p> <p>阿蘇、三池丸、黒神丸</p> <p>肥前、石見</p> <p>千代田、宇治、隅田</p> <p>嵯峨</p> <p>伏見</p> <p>鳥羽</p> <p>明石、卯月</p> <p>最上、長月</p>	<p>對馬(十日「サイモンスタウン」發「ダトパン」)</p> <p>滿州(十七日打狗發測量地)</p> <p>水無月(十七日新嘉坡發哨區)</p> <p>桂、楓、梅(十八日「アレキサンドリア」發「タラント」)</p> <p>勞山(十九日吳發佐世保)</p> <p>膠州(十九日青島發佐世保)</p> <p>海風、山風、榎、檜(十九日大湊發)</p> <p>青島(二十日吳發佐世保)</p>
--	--	--	--

海軍公報第七百八十七號 大正七年八月二十一日

六〇五

(秘 外 部)

海軍公報

第千七百八十八號

大正七年八月二十二日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一二七八號
大正六年官房機密第一九一號中「黒神九」ノ次ニ「高崎」ヲ加フ

大正七年八月二十二日

海軍大臣 加藤友三郎

(参照) 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍職時給規則第六條ノ
増修支給ノ件ナリ

○辭 令

火藥關係事項調査委員長ヲ命ス

海軍大將 村上 格一

海軍少將 吉岡 範策

海軍大佐 古川 鈺三郎

同 金田 秀太郎

同 櫻井 眞清

同 巖崎 茂四郎

海軍中佐 兼坂 隆

(各通)

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

火藥關係事項調査委員ヲ命ス(以上均ハ海軍省)
海軍軍令部出仕兼參謀海軍中佐 米内 光政
浦鹽派遣軍司令部附被仰付(陸軍省)

海軍造兵大技士

海軍技師

海軍造兵少監

工學博士

海軍造兵總監

海軍造船中監

海軍造船大監

海軍機關中佐

海軍機關大佐

海軍大尉

同

同

同

同

江口 金馬

波多野 貞夫

永野 修身

福與 平三郎

丹野 武雄

松下 象作

平田 善作

吉田 善吾

本田 喜一郎

柳澤 祐冬

小野寺 恕

平賀 讓

横山 一

種子田 右八郎

楠瀬 熊治

中谷 達次郎

山家 信次

松井 清足

米内 光政

海軍公報第千七百八十八號

大正七年八月二十二日

六〇七

○艦船所在

○八月二十二日午前十時開

須賀 朝日、榛名、生駒、津輕、橋立、天龍、

白鷺、夕暮、夕立、三日月、隴、曙、夕霧、

雲、陽炎、江風、不知火、薄雲、浦風、潜一三、

潜一、潜二、隴、雄、鴻、白鷹、洲崎、劍崎、關東、

勝力、栗橋丸、長浦丸、

大 漢 吹雪、有明 吳 比叡、普妻、安齋、伊吹、平戸、富士、

嚴島、臼井、楢、櫻、菜、千歲、濱風、磯風、天津風、

初春、春風、時津風、韓崎、駒橋、潜一六、潜八、

潜九、潜一五、潜一七、潜一〇、潜一一、潜一二、

潜四、潜三、潜五、潜六、潜七、潜一四、水七〇、

水六七、水六八、水七一、椅子山丸、硯海丸、雁山丸、

板橋丸 宮 口金剛、若宮 山 河内、彌生

佐 伯 山城、伊勢、日向、扶桑、攝津、利根、

佐 世 保 鞍馬、敷島、磐手、龍田、須磨、沖島、

構、雁、鶴、燕、蒼鷹、鷲、鴞、猿橋丸

長 鷗 雲雀 鷗 口香取、鹿島、三笠、薩摩、春日、筑摩、

見島、若葉、朝風、潮、子日、谷風、真鶴、陽、

千鳥、隼、水七二、水七三、水七四、水七五、泥橋丸、

志自岐 土 志自岐 鎮 志自岐

馬 公 秋津洲、朝潮、白雲 旅 順 秋津洲、朝潮、白雲

南洋群島 淀、松江、華丙、花咲丸 武藏

間宮海峽 千早、如月、初霜、神風、響、葦崎丸

浦鹽斯德 阿蘇、三池丸、照神丸 漢 肥前、石見

長 口 千代田、宇治、隅田 常 壁峨 伏見

重 慶 鳥羽 新嘉坡 明石、卯月

彼 南 最上、長月 新高 日進

航海中 出雲、柏、杉、樅 松風、般(六日浦鹽發)

霧島(八日)「エスカイモルト」發價須賀へ)
 菊月(十二日)新嘉坡發哨區へ)
 常磐(十二日)「ホノルル」發吳へ)
 淺間(十五日)橫須賀發「ホノルル」へ)
 八雲(十六日)新嘉坡發古倫母へ)
 對馬(十七日)「サイモンスタウン」發「ダートバン」へ)
 滿州(十七日)打狗發測量地へ)
 水無月(十七日)新嘉坡發哨區へ)
 桂、楓、梅(十八日)「アレキサンドリア」發「タラント」へ)
 勞山(十九日)吳發佐世保へ)
 膠州(十九日)青島發佐世保へ)
 海風、山風、榎、檜(十九日)大湊發)
 楠(十九日)「コロン」發「タラント」へ)
 青島(二十日)吳發佐世保へ)
 松(二十日)坡西土發「モルタ」へ)
 大和(二十一日)鎮海發測量地へ)
 矢矧(二十一日)「ウエリントン」發「オークランド」へ)
 周防(二十一日)德山發吳へ)
 高崎(二十二日)橫須賀發加那士里斯灣へ)

○雜款

○旗艦指定
 森山第二戰隊司令官ハ本日軍艦攝津ニ乘艦セリ

海軍公報第七百八十八號 大正七年八月二十二日

○郵便物發送先 軍艦周防宛 本日以後 軍艦若宮、艦隊航空隊宛 本日以後	運送船高崎宛(八月十九日本欄掲載ノ分取消ス) 本日以後	運送船劍崎宛 八月二十七日迄到達見込ノモノハ 九月 四日同 九月 八日同 其ノ後ハ	○運送船膠州行動豫定 地名 著
橫須賀	宮島	新舞鶴	佐世保 八月二十六日 著
		吳 八月二十四日 發	舞鶴 八月二十七日 發
		新舞鶴 八月三十一日 發	折生迫 九月一日 發
		吳 九月二日 發	吳 九月三日 發
		橫須賀 九月六日 發	橫須賀 九月九日 發
		大湊 九月十二日 發	大湊 九月十五日 發
		橫須賀 九月十六日 發	橫須賀 九月十九日 發

六〇九

海軍公報第七百八十八號 大正七年八月二十二日

六二〇

吳	二十五日	二十八日
徳山	二十八日	三十日
佐世保	十月一日	

○事務所
軍艦河内事務所ハ昨二十一日徳山町無量寺ニ移轉セリ

1339

(秘 外 部)

海軍公報

第七百八十九號

海軍大臣官房

大正七年八月二十三日(金)

○通 牒

經豫第五〇號

大正七年八月二十三日

海軍省經理局長 志 佐 勝
委任仕拂命令官殿

露領沿岸派遣艦船へ交付シタル軍費報告ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省理財局長ヨリ照會有之候條該報告書翌月十五日迄ニ當局へ提出相成度
右通知ス

(別紙)

國秘第六一〇號

西比利亞及北滿洲派遣部隊へ軍費トシテ交付シタル仕拂命令濟額及其金額類調査上必要有之候ニ付別紙書式ニ依リ毎月御報告相煩度此段及御照會候也
大正七年八月二十日

大藏省理財局長 神野 勝之助

海軍省經理局長志佐勝殿

海軍公報第七百八十九號 大正七年八月二十三日

西比利亞及北滿洲派遣部隊所屬軍費等 年 月 日 仕拂額 表

種 別	年 月 日	仕 拂 額		備 考
		金 額	手 續	
露領沿岸地方				
中 國				
西 伯 利 亞				
北 滿 洲				
合 計				

○艦船所在

▲印ハハボスノ指定ヲ要セス

○八月二十三日午前十時調

六一一

【横須賀】 朝日▲榛名、生駒、津輕、橋立、天龍、

白雲▲夕暮▲夕立▲三日月▲巨龍▲曙▲夕霧▲

龍雲▲陽炎▲江風▲不知火▲霧雲▲浦風▲巨潜一三▲

潜一▲潜二▲巨鷗▲雄鴻▲白鷹▲洲崎▲劍崎▲關東▲

勝力▲栗橋丸▲長浦丸▲

【大 漢】 巨吹雪、有明

【吳】 比臉、ト吾妻、安藝、伊吹、平戸、富士、

嚴島、巨椿、嶺、櫻、桑、ト千歳、巨濱風、磯風、天津風、

巨桐、櫻、橘、巨夕風、追風、疾風、巨時雨、初雪、

初春、春風、時津風、潜九、潜一五、潜一一、巨潜四、

潜三、潜五、潜六、潜七、潜一四、巨水七〇、水六七、

水六八、水七一、椅子山丸▲、硯海丸、歷山丸、板橋丸

【宮 島】 巨金剛、若宮、ト韓崎、駒橋、巨潜一六、

潜八、潜一七、巨潜一〇、潜一一

【德 山】 河内、彌生

【佐 伯】 巨山城、伊勢、日向、扶桑、ト攝津

【佐 世 保】 鞍馬、敷島、磐手、龍田、須磨▲、沖島、

巨雁、鶴、燕、蒼鷹、巨鷲、鶉、鶉、膠州、勞山、青島、猿橋丸

【長 崎】 雲雀

【舞 鶴】 三笠、薩摩▲、春日▲、筑摩▲、見島▲、

巨若葉、朝風、潮、子日、谷風、巨真鶴、千鳥、隼、

巨水七二、水七三、水七四、水七五、淀橋丸

【土 崎】 志自岐

【鐵 海】 大和、巨朝霧、村雨

【馬 公】 秋津洲、巨朝潮、白雲

【旅 順】 巨浦波、磯波、綾波、白銀丸

【南洋群島】 淀松江、華丙、花咲丸

【神風、響、黑神丸、葦崎丸】

神風、響、黑神丸、葦崎丸

【間宮海峽】 阿蘇、三池丸

【浦鹽斯德】 肥前

【長 沙】 千代田、宇治、鴈田

【常 德】 伏見

【重 慶】 鳥羽

【新嘉坡】 明石

【彼 南】 最上、長月

【ターバン】 劉馬

【タイマン】 新高

【モルタ】 日進

【シタマン】 巨出雲、巨柏、杉、楫

巨槍、桃、榊、柳

【航海中】

巨野分、白雲(三日浦鹽發)

松風、霞(六日浦鹽發)

霧島(八日)エスカイモルト「發横須賀へ」

菊月(十二日)新嘉坡發暗風へ

常磐(十二日)ホノルル「發吳へ」

<p>○入港豫定 軍艦霧島明二十四日午前八時横須賀著ノ豫定</p> <p>○郵便物發送先 第一水雷隊司令部、利根、第四驅逐隊（梅、榮、樺、楨）宛</p> <p>本日以後 吳</p>	<p>○雜款</p>	<p>淺間(十五日横須賀發、ホノルル)へ) 入雲(十六日新嘉坡發古倫母)へ) 滿州(十七日打狗發測量地)へ) 口水無月(十七日新嘉坡發哨區)へ) 桂、楓、梅(十八日「アレキサンドリヤ」發、タラント)へ) 楠(十九日「コルフ」發、タラント)へ) 松(二十日坡西土發「モルタ」)へ) 矢矧(二十一日「ウエリントン」發「オロクランド」)へ) 高崎(二十二日横須賀發加斯土里斯灣)へ) 卯月(二十二日新嘉坡發哨區)へ) 石見(二十二日浦鹽發) 樺(二十二日佐世保發吳)へ) 周防(二十二日吳發横須賀)へ) 口香取、鹿島(二十二日舞鶴發加斯土里斯灣)へ) 利根(二十三日佐伯發吳)へ)</p>
<p>○正誤 昨二十二日本欄運送船膠州行動豫定中徳山發ノ日三十日ハ三十日ノ誤</p>		

海軍公報第七百八十九號 大正七年八月二十三日

六二三

(秘 外 部)

海軍公報

第七百九十號

大正七年八月二十四日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第一二八一號
大正六年官房機密第一九一號中「淺間」ノ次ニ左ノ各項ヲ加フ

香 取
鹿 島

本令ハ大正七年八月二十二日ヨリ之ヲ適用ス

大正七年八月二十四日

海軍大臣 加藤友三郎

(参照) 大正六年官房機密第一九一號ハ海軍臨時給與規則第六條ノ増修支給ノ件ナリ

官房第二九四九號

大正四年十二月官房第三八二五號中「軍艦香取」及「軍艦鹿島」ヲ加フ

本令ハ大正七年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正七年八月二十四日

海軍大臣 加藤友三郎

(参照) 大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍費ヲ以テ經費ヲ支辨スヘキ各部ノ件ナリ

官房第二九五〇號

大正四年十二月官房第三八二五號中「軍艦霧島」ヲ削ル
本令ハ大正七年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正七年八月二十四日

海軍大臣 加藤友三郎

(参照) 大正四年十二月官房第三八二五號ハ臨時軍費ヲ以テ經費ヲ支辨スヘキ各部ノ件ナリ

○辭 令

海軍中佐 矢野 祐太郎

火藥關係事項調査委員ヲ命ス(以テ海軍省)

○艦 船 所 在

▲印 ▲ハホレ
船名ヲ列セズ

○八月二十四日午前十時調

【横須賀】 霧島、朝日、榛名、生駒、津輕、橋立、天龍、

白鷹、夕暮、夕立、三日月、巨龍、曙、夕霧、

叢雲、陽炎、江風、不知火、薄雲、浦風、三三、

潛一、潛二、巨鵬、雄、鴻、白鷹、洲埼、關東、勝力、

栗橋丸、長浦丸、

【大 湊】 吹雪、有明

海軍公報第七百九十號

大正七年八月二十四日

六二五

1343

<p>【吳】 山口城、伊勢、日向、扶桑、攝津、比叡、 香妻、安藝、伊吹、平戸、富士、嚴島、利根、樺、 楨、櫻、桑、千歳、濱風、磯風、天津風、桐、樺、 櫻、橘、夕風、追風、疾風、時雨、初雪、初春、 春風、時津風、潛九、潛一五、潛一一、潛四、 潛三、潛五、潛六、潛七、潛一四、水七〇、水六七、 水六八、水七一、椅子山丸、硯海丸、歷山丸、板橋丸 【宮】 島、金剛、若宮、韓崎、駒橋、潛一六、 潛八、潛一七、潛一〇、潛一二</p> <p>【徳】 山、河内、彌生</p> <p>【佐世保】 鞍馬、敷島、磐手、龍田、須磨、沖島、 【雁、鶴、燕、蒼鷹、鶉、雲雀、膠州、勞山、青島、猿橋丸 【長崎】 鷺</p> <p>【舞鶴】 三笠、薩摩、春日、筑摩、見島、 【若葉、朝風、潮、子日、谷風、眞鶴、千鳥、隼、 【水七二、水七三、水七四、水七五、淀橋丸 【海】 朝霧、村雨</p> <p>【馬】 公、秋津洲、朝潮、白雲</p> <p>【旅順】 浦波、磯波、綾波、白銀丸 【南洋群島】 淀、松江、華丙、花咲丸</p> <p>【阿蘇】 武蔵</p> <p>【間宮海峡】 阿蘇、三池丸 【浦羅斯德】 肥前</p>	<p>【漢口】 千代田、宇治、隅田 【長沙】 蟻餓 【常德】 伏見 【重慶】 鳥羽 【新嘉坡】 明石 【彼南】 最上 【古倫母】 八雲 【ターバン】 對馬 【ライオン】 新高 【オランダ】 新高 【モルタ】 日進 【アレキサンドリア】 出雲、杉、杉、櫻、 檜、桃、柳</p> <p>【航海中】 【野分、白雲】 三日浦羅發 【松風、靄】 六日浦羅發 【菊月】 十二日新嘉坡發哨區 【常磐】 十五日横須賀發、ホノルル 【淺間】 十五日横須賀發、ホノルル 【浦州】 十七日打狗發哨區 【水無月】 十七日新嘉坡發哨區 【桂、梅】 十八日アレキサンドリア發、タラント</p>
---	--

楠(十九日「コルフ」發「タラント」)
 松(二十日坡西土發「モルタ」)
 高崎(二十二日橫須賀發加斯土里斯灣)
 卯月(二十二日新嘉坡發哨區)
 石見(二十二日浦鹽發)
 周防(二十二日吳發橫須賀)
 口香取、鹿島(二十二日舞鶴發加斯土里斯灣)
 長月(二十二日彼南發一尋堆)
 大和(二十三日鎮海發測量地)
 志自岐(二十三日船川發新潟)
 劍崎(二十四日橫須賀發吳)

○雜款

○郵便物發送先
 第三艦隊司令部、香取、鹿島、第三水雷戰隊司令部、阿蘇、千早、第五驅逐隊(神風、如月、初霜、響)、第二驅逐隊(海風、山風、檜、榎)、葦崎丸、黑神丸宛
 本日以後 新舞鶴郵便局氣付

○運送船劍崎第七回行動豫定

地名	著	發
橫須賀		八月二十四日
吳	八月二十七日	三十日
舞鶴	九月二日	九月七日

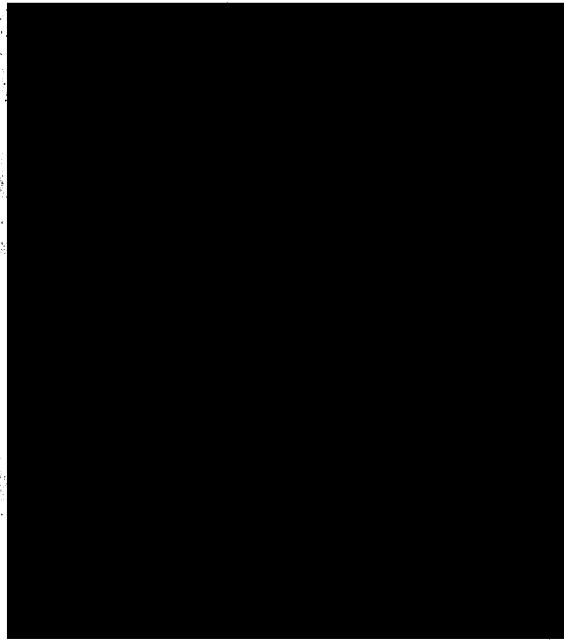
新潟 八日 十一日
 舞鶴 十二日

○事務所移轉
 橫須賀海軍工廠小海兵器庫内ニ設置シアリタル驅逐艦江風機裝員事務所ハ昨二十三日同艦内ニ移轉セリ

(秘外部)

海軍公報第七百九十號附錄

懲罰言渡書



海軍公報第七百九十號附錄

大正七年八月二十四日(土)

海軍大臣官房

1346

海軍公報

第一千七百九十一號

海軍大臣官房

大正七年八月二十六日(月)

○令達

官房第二九六八號

東亞露領沿岸ニ在リ又ハ派遊セラルル艦船ノ乘員ニハ十月一日ヨリ四月三十日迄ノ間必要ニ應シ本年二月官房第四三五號ニヨル防養服ヲ給與若クハ貸與スルコト

大正七年八月二十六日

海軍大臣 加藤友三郎

○通牒

官房第二九六九號

大正七年八月二十六日

海軍次官 柄内曾次郎

各廳長殿

從軍年加算ニ關スル件

左ニ掲グル艦船ニ在リテ服務スル軍人ハ各頭書ノ日ヨリ起算シ大正三年十一月十日陸海軍省告示第一項又ハ第二項ニ依リ從軍年ヲ加算セラルルモノトシ取扱相成度

右通知ス

大正七年八月十日以後任地 (告示第二項)

ニ向ケ内國港灣出發ノ日 (後段ニ依ル)

大正七年八月十九日 (告示第一項)

大正七年八月二十日以後任地 (告示第一項)

地ニ向ケ内國港灣出發ノ日 (告示第一項)

大正七年八月十日 (告示第二項)

○艦船所在

指定ヲ要セス

○八月二十六日午前十時調

横須賀 霧島、朝日、榛名、生駒、周防、橋立、天龍、

白雲、夕暮、夕立、三日月、口龍、曙、夕霧、

雲龍、陽炎、江風、不知火、漣雲、浦風、口潛一三、

潛一、潛二、口鷗、雄、鴻、白鷺、洲崎、關東、勝力、

栗橋丸、長浦丸、

大 漫 口吹雪、有明、三池丸

小 樺 津輕

吳 口山城、伊勢、日向、扶桑、ト攝津、比叡、

卜晋妻、安藝、伊吹、千歳、富士、殿島、卜利根、卜樽、
 榎、榎、桑、卜平戸、卜濱風、磯風、天津風、
 卜桐、榎、櫻、橘、追風、疾風、卜時雨、初雪、初春、
 春風、時津風、潜九、潜一五、潜一一、卜潜四、
 潜三、潜五、潜六、潜七、潜一四、卜水七〇、水六七、
 水六八、水七一、椅子山丸、硯海丸、雁山丸、板橋丸、
 卜宮、島、卜韓崎、駒橋、卜潜一六、潜八、潜一七、
 卜潜一〇、潜一二
 德山 河内
 佐世保 鞍馬、敷島、磐手、龍田、須磨、沖島、
 雁、鶴、燕、蒼鷹、鶉、鶴、雲雀、勞山、青島、猿橋丸
 長崎 卜鷲
 舞鶴 三笠、薩摩、春日、筑摩、見島、
 卜若葉、朝風、潮、子日、谷風、卜真鶴、鶴、千鳥、車、
 卜水七二、水七三、水七四、水七五、淀橋丸
 飯海 卜朝霧、村雨
 馬公 秋津洲、卜朝潮、白雲
 旅順 卜浦波、磯波、綾波、白銀丸
 南洋群島 淀、松江、華丙、花咲丸
 卜武藏
 神風、響、黑神丸、葦崎丸
 間宮海峡 阿蘇、榎
 浦鹽斯德 卜鹿前
 漢口 卜千代田、宇治、鴈田

長沙 嗟峨
 常徳 伏見
 重慶 鳥羽
 新嘉坡 卜明石、卜水無月
 南 最上、菊月
 新嘉坡 新高
 彼南 矢矧
 日進
 フリマントル
 モルタル 卜出雲、卜柏、杉、榎、櫻、柳
 ムドロズ海 卜檜、桃
 タラント 卜桂、榎、梅
 航海中
 野分、白雪(三日浦鹽發)
 松風、霞(六日浦鹽發)
 常磐(十二日「ホノルル」發與)
 淺間(十五日横須賀發、ホノルル)
 滿州(十七日打狗發測量地)
 楠(十九日「ゴルフ」發、タラント)
 松(二十日坡西土發「モルタル」)
 高崎(二十二日横須賀發、加士土里斯灣)
 卯月(二十二日新嘉坡發暗區)
 卜香取、鹿島(二十二日舞鶴發、加士土里斯灣)
 長月(二十二日彼南發一尋堆)

<p>大和(二十三日鎮海發測量地人) 對馬(二十三日「グーパン」發「サンデパール」) 劍崎(二十四日橫須賀發吳へ) 膠州(二十四日佐世保發舞鶴へ) 八雲(二十五日古倫母發新嘉坡へ) 志自岐(二十五日新瀉發吳へ) 石見(二十五日吳發德山へ) 若宮(二十六日宮島發吳へ) 口金剛(二十六日宮島發別府へ) 彌生(二十六日徳山發吳へ)</p>	<p>○雜款</p> <p>○旗艦變更 第二水雷戰隊司令官ハ一昨二十四日旗艦ヲ千歳ヨリ平戸ニ變更セリ</p>	<p>○郵便物發送先 第二艦隊司令部、金剛宛 八月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 別府 其ノ後ハ 吳</p> <p>軍艦標名宛 八月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 橫須賀 其ノ後ハ 吳</p>																					
<p>軍艦鞍馬、石見、若宮及艦隊航空隊宛 本日以後 吳</p> <p>運送船膠州宛 八月三十日迄到達見込ノモノハ 佐世保 九月五日迄同 吳 其ノ後ハ 橫須賀</p>	<p>○運用術練習艦富士行動豫定</p> <table border="1"> <tr> <th>地名</th> <th>著</th> <th>發</th> </tr> <tr> <td>吳</td> <td>九月 六日</td> <td>九月 二日</td> </tr> <tr> <td>旅順</td> <td>九月 十一日</td> <td>九月 九日</td> </tr> <tr> <td>縣洞</td> <td>九月 十五日</td> <td>九月 十四日</td> </tr> <tr> <td>吳</td> <td>九月 二十三日</td> <td>九月 二十一日</td> </tr> <tr> <td>佐世保</td> <td>十月 五日</td> <td>九月 三十日</td> </tr> <tr> <td>神戶</td> <td>十月 八日</td> <td>十月 七日</td> </tr> </table>	地名	著	發	吳	九月 六日	九月 二日	旅順	九月 十一日	九月 九日	縣洞	九月 十五日	九月 十四日	吳	九月 二十三日	九月 二十一日	佐世保	十月 五日	九月 三十日	神戶	十月 八日	十月 七日	<p>○事務所移轉 軍艦河内引揚方法調査會事務所ハ本月二十三日吳海軍港務部内ニ移轉セリ</p> <p>○通信復舊 青島無線電信所故障復舊主裝置送信差支ナシ</p>
地名	著	發																					
吳	九月 六日	九月 二日																					
旅順	九月 十一日	九月 九日																					
縣洞	九月 十五日	九月 十四日																					
吳	九月 二十三日	九月 二十一日																					
佐世保	十月 五日	九月 三十日																					
神戶	十月 八日	十月 七日																					

海軍公報第七百九十一號 大正七年八月二十六日

六二二

(秘 外 部)

海軍公報

第一千七百九十二號

大正七年八月二十七日(火)

海軍大臣官房

○通牒

官房第二九七八號

大正七年八月二十七日

海軍次官 初内曾次郎

各廳長殿

從軍年加算ノ件

左ニ掲クル艦船、各廳ニ在テ服務スル軍人ハ大正七年八月十日ヨリ起算シ大正三年十一月十日陸海軍省告示第二項後段ニ依リ從軍年ヲ加算セララルモノトシ取扱相成度
右通知ス

海軍省

海軍軍令部

海軍技術本部(艦裝員ヲ除ク)

水路部

海軍造兵廠

侍從武官府

東宮武官

元帥府

海軍公報第一千七百九十二號

大正七年八月二十七日

- 軍事參議院
- 朝鮮總督府附武官
- 臺灣總督府海軍幕僚
- 高等捕獲審檢所
- 佐世保捕獲審檢所
- 造船造兵監督官、造船造兵監督會計官
- 鎮守府(職務ニ服セサル)
- 海軍人事部
- 海軍港務部
- 海軍經理部
- 海軍工廠(艦裝員ヲ除ク)
- 防備隊
- 海軍病院(看護員ヲ除ク)
- 海兵團(練習員及臨時ノ職務ニ服セサル補給員ヲ除ク)
- 要港部
- 常設海軍監樓
- 常設海軍無線電信所
- 特設海軍監樓
- 特設海軍無線電信所
- 警備艦船

海軍航空隊

特設船舶

○ 辭令

海軍中佐 吉武 貞輔
臨時潜水艇航空機調査會委員ヲ命ス(以該海軍省)

○ 艦船所在

▲印▲ハ▲ホ▲ノ
指定ヲ要セス

○八月二十七日午前十時開

○須賀 霧島、朝日、生駒、周防、橋立、天龍、
白旗、夕暮、夕立、三日月、巨龍、曙、夕暮、
霧雲、陽炎、江風、不知火、薄雲、浦風、巨潜二三、
潜一、潜二、巨龍、雉、鴻、白鷹、洲埼、關東、勝力、
栗橋丸、長浦丸、
大 漢、巨吹雪、有明、三池丸
小 梅、津輕

吳、山口城、伊勢、日向、扶桑、ト攝津、比叡、
吾妻、安藝、伊吹、千歳、富士、嚴島、若宮、
利根、巨椿、櫻、桑、ト平戸、巨濱風、磯風、天津風、
巨桐、櫻、櫻、追風、疾風、彌生、巨時雨、初雪、初春、
春風、時津風、潜九、潜一五、潜一一、巨潜四、
潜三、潜五、潜六、潜七、潜二四、巨水七〇、水六七、
水六八、水七一、椅子山丸、硯海丸、歷山丸、板橋丸、

三河丸

宮 島、ト轉崎、駒橋、巨潜一六、潜八、潜一七、
巨潜二〇、潜二二

德 山、河内
別 府、巨金剛

佐 世 保、敷島、磐手、龍田、須磨、沖島、鶴、燕、
蒼鷹、巨鷲、鶴、雲雀、勢山、青島、猿橋丸

長 崎、巨雁
舞 鶴、三笠、薩摩、春日、筑摩、見島、
巨若葉朝風、潮、子日、谷風、巨真鶴、鶴、千鳥、
巨水七二、水七三、水七四、水七五、膠州、淀橋丸

馬 公、巨朝霧、村雨
旅 順、巨浦波、磯波、綾波、白銀丸

南洋群島、淀、松江、華丙、花咲丸
武藏

神風、櫻、黑神丸、葦崎丸
加士土里斯海、巨香取、鹿島

間宮海峡、阿蘇、榎

浦羅斯德、巨肥前、石見

鏡 口、巨千代田、宇治、鴨田

長 沙、巨艦
常 德、伏見
重 慶、鳥羽

新嘉坡 明石、水無月

彼南 最上、菊月

新高 新高

矢矧 矢矧

日進 日進

出雲、出雲、杉、桂、楓

梅、桃

梅

梅

航海中

野分、白雪(三日浦鹽發)

松風、霞(六日浦鹽發)

常磐(十二日「ホノルル」發吳へ)

淺間(十五日横須賀發「ホノルル」へ)

楠(十九日「コルフ」發「タラント」へ)

松(二十日坡西土發「モルタ」へ)

高崎(二十二日横須賀發加斯土里斯灣へ)

卯月(二十二日新嘉坡發哨區へ)

長月(二十二日彼南發一尋堆へ)

大和(二十三日鎮海發測量地へ)

對馬(二十三日「グートン」發「サンヂバル」へ)

劍崎(二十四日横須賀發吳へ)

八雲(二十五日古倫母發新嘉坡へ)

志自岐(二十五日新瀉發吳へ)

夕風(二十五日吳發德山へ)

柳、櫻(二十五日「モルタ」發「ビゼルタ」へ)
鞍馬(二十六日佐世保發吳へ)
樓名(二十七日横須賀發)

○ 雜 款

○行動豫定變更
本月二十二日本欄運送船膠州行動豫定中折生迫ノ一行ヲ削除ス

(秘 外 部)

海軍公報

第七千七百九十三號

海軍大臣官房

大正七年八月二十八日(水)

○艦船所在

▲印▲ハ▲カ▲ノ
指定ヲ要セス

○八月二十八日午前十時調

【横須賀】 霧島、朝日、榛名、生駒、周防、橋立、天龍、

白雲、夕暮、夕立、三日月、巨龍、曙、夕霧、

霧雲、陽炎、江風、不知火、海雲、浦風、巨潜一三、

潜一、潜二、巨鷗、雄、鴻、白鷹、洲崎、關東、勝力、

栗橋丸、長浦丸▲

【大 湊】 吹響、有明、三池丸

【小 樽】 津輕

【吳】 山口、伊勢、日向、扶桑、攝津、比叡、

香妻、安藝、伊吹、千歳、富士、嚴島、若宮、

利根、椿、櫻、橘、追風、疾風、彌生、時雨、初雪、初春、

春風、時津風、潜九、潜一五、潜四、潜三、潜五、

潜六、潜七、潜一四、巨水七〇、水六七、水六八、

水七一、劍崎、椅子山丸▲、硯海丸、腰山丸、板橋丸、

三河丸

【宮 島】 潜二二

【徳 山】 河内

【別 府】 白金剛
【佐世保】 敷島、磐手、龍田、須磨、沖島、鶴、燕、

蒼鷹、巨鷲、鶉、鶴、雲雀、芳山▲、青島、櫻橋丸

【長 崎】 巨龍
【舞 鶴】 三笠、薩摩▲、春日、筑摩▲、見島▲、

巨若葉、朝風、潮、子日、谷風、巨真鶴、鶴、千鳥、軍、

巨水七二、水七三、水七四、水七五、淀橋丸

【鎮 海】 巨朝霧、村雨
【馬 公】 秋津洲、滿州、巨朝潮、白雲

【旅 順】 巨浦波、磯波、綾波、白銀丸
【南洋群島】 淀、松江、華丙、花咲丸

【ノボロツツ】 武藏
【ノボロツツ】 千早、巨海風、山風、楢、巨如月、初霜、

神風、響、黒神丸、葦崎丸
【加士土里斯灣】 巨香取、鹿島

【間宮海峡】 阿蘇、榎
【浦鹽斯德】 巨肥前、石見

【漢 口】 巨千代田、宇治、隅田
【長 沙】 睦峨

【重 慶】 伏見
【重 慶】 鳥羽

海軍公報第七千七百九十三號 大正七年八月二十八日

六二七

新嘉坡 閉石、口水無月
彼南 最上、菊月

新高 新高

日進 矢矧

出雲、杉、松、楡、桂、楓

梅

航海中

白野分、白雲(三日浦發)

松風、松(六日浦發)

常磐(十二日、ホノルル)發吳()

淺間(十五日横須賀發、ホノルル) ()

高崎(二十二日横須賀發、加士土里斯灣) ()

卯月(二十二日新嘉坡發、哨區) ()

長月(二十二日彼南發、尋堆) ()

對馬(二十三日「ターバン」發、サンヂバル) ()

八雲(二十五日古倫母發、新嘉坡) ()

志自岐(二十五日新瀉發、吳) ()

夕風(二十五日吳發、德山) ()

柳、橙(二十五日「モルタ」發、ビゼルタ) ()

鞍馬(二十六日佐世保發、吳) ()

楠(二十六日「タラント」發、坡西土) ()

膠州(二十七日舞鶴發、佐世保) ()

大和(二十七日釜山發、測量地) ()
韓崎、駒橋、口潜一六、潜八、潜一七、口潜一〇、潜一一
(二十八日宮島發、安下庄) ()

○雜款

春日丸行動豫定
目下本邦へ歸航ノ途ニアル日本郵船株式會社汽船春日丸ノ行動豫定左ノ通

地名	着	發
新嘉坡	九月一日	九月二日
長崎	九月十二日	九月十三日
神戸	九月十五日	

○閉塞交換局變更
左記艦船ニ對スル内地閉塞交換局「横濱」ヲ「神戸」ニ變更ス(海軍省副官)

- 第二特務艦隊司令部、軍艦出雲
- 第二十二驅逐隊司令部、驅逐艦桂、楓、梅、楠
- 第二十三驅逐隊司令部、驅逐艦柳、柏、松、杉
- 第二十四驅逐隊司令部、驅逐艦桃、橙、楡、柳、榎、檜

(秘 外 部)

海軍公報

第七千七百九十四號

大正七年八月二十九日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房第三〇〇四號
本年八月十日以降戰役勤務ニ服シタル者ニ對シ海軍功績調査規程ノ手續ヲ行フヘシ
大正七年八月二十九日
海軍大臣 加藤友三郎

○通 牒

海人第六〇號
大正七年八月二十九日
海軍省人事局長 谷口 尙眞
各廳長殿

功績調査書類ニ關スル件

官房第三〇〇四號ニ依リ海軍功績調査規程第五條又ハ第八條ノ手續ヲ爲スニ當リテハ特ニ左記事項ニ御注意相成様致度

右通知ス

一、功績明細書中「職名部署」ノ欄ニハ必ス其ノ職名部署ヲ記入スルト共ニ無線電信掛將校、先任機關兵曹長(上等機關兵曹)先任衛兵伍長及機關部先任下士等ノ特別配屬ヲモ記入スルコト

海軍公報第七千七百九十四號 大正七年八月二十九日

但シ其ノ命免ノ期日ヲ明瞭ニ記入スルヲ要ス
二、功績具申名簿中功績順序欄ノ記入ハ便宜省略差支ナシ

三、履歷書ハ大正四年十一月七日附行賞セラレタル者及從軍記章ヲ授與セラレタル者ニ在リテハ同日以後ノ履歷ヲ記載シ共ノ他ノ者ニ在リテハ海軍出身以後ノ履歷ヲ記載スルコト

四、今回ノ戰役ニ關シ大正四年十一月七日附行賞(懋勞賜金ヲモ含ム)セラレタル者及從軍記章ヲ授與セラレタル者ハ必ス其ノ旨履歷書ニ明記スルヲ要ス

五、履歷書中ニ記入スヘキ乘退艦又ハ入退院等ノ年月日ハ必ス實際乘退艦又ハ入退院シタル年月日ヲ記入スルコト

六、有功者タル備人ノ功績明細書又ハ履歷書中勳等記入例ノ實例アリシニ付特ニ此ノ點ニ留意スルコト

○艦船所在

▲印ニハホシノ指定ヲ要セズ

○八月二十九日午前十時調
【横須賀】 霧島、朝日、榛名、生駒、周防、橋立、天龍、白雲、夕暮、夕立、三日月、巨龍、曙、夕霧、雲、陽炎、江風、不知火、海雲、油風、巨潜一三

六二九

【大】 澆 吹雪、有明、三池丸
 【小】 津輕
 【吳】 山口城、伊勢、日向、扶桑、鞍馬、攝津、比叡、晉妻、安藝、伊吹、千歲、富士、殿島、利根、椿、梅、桑、平戸、追風、疾風、彌生、時雨、初雪、初春、春風、時津風、潛九、潛一五、潛四、潛三、潛五、潛六、潛七、潛一四、水七〇、水六七、水六八、水七一、劍崎、志自岐、椅子山丸、硯海丸、雁山丸、板橋丸、三河丸
 【宮】 潛二一
 【安下庄】 韓崎、駒橋、潛一六、潛八、潛一七、潛一〇、潛二一
 【德】 河内、夕風
 【佐世保】 敷島、磐手、龍田、須磨、沖島、鶴、蒼鷹、鷲、鷓、雲雀、勢山、青島、猿橋丸
 【長】 雁
 【舞】 鶴 三笠、薩摩、春日、筑摩、見島、若葉、朝風、潮、子日、谷風、真鶴、千鳥、隼、水七二、水七三、水七四、水七五、淀橋丸
 【鎮】 朝霧、村雨
 【馬】 公 秋津洲、浦州、朝潮、白雲
 【旅】 瀨波、磯波、綾波、白銀丸
 【南洋群島】 淀、松江、華丙、花咲丸

【Holland】 武藏
 【Holland】 千早、海風、山風、檜、如月、初霜、神風、響、黑神丸、葦崎丸
 【加士里斯灣】 香取、鹿島、高崎
 【間宮海峽】 阿蘇、榎
 【浦鹽斯德】 肥前、石見
 【漢】 千代田、宇治、隅田
 【長】 沙 蜃、伏見
 【常】 德 鳥羽
 【重】 慶 鳥羽
 【新嘉坡】 明石、水無月
 【彼南】 最上、菊月
 【イモトスワ】 新高
 【オールドマン】 新高
 【カールマン】 新高
 【フレイムトル】 日進
 【モルタ】 出雲、柏、杉、櫛、桂、根
 【ムドロス湾】 檜、桃
 【ビゼルタ】 柳、櫻
 【タラント】 梅
 【ホノルル】 淺間
 【航海中】 野分、白雪(三日浦鹽發)、松風、霞(六日浦鹽發)、常磐(十二日、ホノルル)發吳()

卯月(二十二日新嘉坡發哨區へ)
 長月(二十二日彼南發一尋壇へ)
 對馬(二十三日「ダーバン」發、ザンチパールへ)
 八雲(二十五日古倫母發新嘉坡へ)
 楠(二十六日「タラント」發坡西土へ)
 膠州(二十七日舞鶴發佐世保へ)
 大和(二十七日釜山發測量地へ)
 巨濱風、磯風、天津風、巨桐、樺、櫻、橘(二十八日吳發廣島灣へ)
 若宮(二十八日吳發安下庄へ)
 口金剛(二十八日別府發吳へ)

○雜款

○郵便物發送先
 第一艦隊司令部、山城、扶桑、伊勢、日向、第二戰隊司令部、攝津、朝日宛
 八月三十一日迄ニ到達見込ノモノハ
 九月 二 日同 吳 山口縣由宇
 九月 十 日同 大分縣佐伯
 其ノ後ハ
 軍艦霧島宛
 本日以後 吳
 軍艦滿州宛
 本日以後
 本日以後 横須賀郵便局留置

○追加
 本月十三日通牒欄西伯利亞及北滿州出征部隊軍用手票取扱順序第七條中大連本金庫遼陽派出所ノ次ニ名古屋本金庫ヲ追加ス

○軍艦武藏行動豫定

地名	著	發
古守島片岡灣	九月 二日	九月 一日
松輪島	九月 四日	九月 三日
藥取	九月 五日	九月 五日
紗那	九月 七日	九月 六日
根室	九月 十二日	九月 十一日
室蘭	九月 十五日	九月 十五日
函館	九月 十七日	九月 十七日
大湊	九月 二十日	九月 二十日
陸奥灣	九月 二十四日	九月 二十三日
宮古	九月 二十六日	九月 二十五日
萩之濱	九月 二十九日	九月 二十七日
横須賀		

○正誤
 一昨二十七日通牒欄官房第二九七八號從軍年ヲ加算セラルヘキ箇所中「防備隊」ノ次ニ「海軍航空隊」ヲ脱ス

海軍公報第七百九十四號 大正七年八月二十九日

六三一

(秘 外 部)

海軍公報

第七千七百九十五號

大正七年八月三十日(金) 海軍大臣官房

○ 辭 令

海軍機關大佐 川路 俊德
火藥關係事項調査委員ヲ命ス(於海軍省)

○ 艦 船 所 在

指定ヲ要セス

○ 八月三十日午前十時調

噴噴須賀 霧島、生駒、周防、橋立、天龍、巨白露、

夕暮、夕立、三日月、巨龍、曙、夕霧、發雲、

陽炎、江風、不知火、薄雲、浦風、巨潜一三、

潜一、潜二、巨鷗、雉、鴻、白鷹、洲崎、關東、勝力、

栗橋丸、長浦丸、

大 濠 以吹雪、有明、三池丸

小 榕 津輕

臭 巨山城、伊勢、日向、扶桑、巨金剛、鞍馬、

巨攝津、比叡、巨吾妻、安藝、伊吹、千歲、富士、嚴島、

巨利根、巨樽、嶺、桑、巨平戸、追風、疾風、彌生、

巨時雨、初雪、初春、春風、時津風、巨韓崎、駒橋、

巨潜一六、潜八、潜九、潜一七、巨潜一〇、潜一一、

潜一二、潜一五、巨潜四、潜三、潜五、潜六、潜七、

海軍公報第七千七百九十五號 大正七年八月三十日

六三三

1358

常 德 伏見

重 慶 鳥羽

慶 門 朝朝、白雲

新嘉坡 明石、水無月

彼 南 最上、菊月

新高 新高

日進 日進

出雲、柏、杉、松、樺、桂、楓

梅

淺間

ホノルル

タラント

航海中

野分、白雲(三日浦鹽發)

松風、霞(六日浦鹽發)

常磐(十二日「ホノルル」發吳へ)

卯月(二十二日新嘉坡發哨區へ)

長月(二十二日彼南發一尋堆へ)

對馬(二十三日「ターバン」發「サンヂバル」へ)

八雲(二十五日古倫母發新嘉坡へ)

楠(二十六日「タラント」發坡西土へ)

大和(二十七日釜山發測量地へ)

桐、樺、櫻、橘(二十八日吳發廣島灣へ)

柳、橙(二十八日「ビゼルト」發「アレキサンドリア」へ)

武藏(二十八日「ペトロバウロンスク」發古守島へ)

檜、桃(二十八日「ムドロス」發「モルタ」へ)

浦波、磯波、棧波(二十九日旅順發大連へ)

矢矧(二十九日「オー克蘭ド」發「ブリスベーン」へ)

三河丸(二十九日吳發德山へ)

榛名、朝日(二十九日橫須賀發)

○ 雜 款

○北支那及中支那方面發著和文電報ノ件
臨時濟南陸軍軍用無線電信所經由ノ本電報ハ佐世保大連間海底線不通中ノミナラス常時取扱フコトナレリ
(大正七年七月十八日部外秘海軍公報第千七百五十九號參照)

○ 正 誤

七月二日辭令欄井澤實猛ノ辭令ハ全部衍